

備考

- 一、銀行管理委員会分決定により二回の取のりとして日本書及銀行とし之に預金其他の一本基金の増加に従つて之を法す。
- 二、預金利息は受入と同時に加盟組合の出資額に定む加算す。
- 三、今日迄の争議は、本金庫の運用を必要としたる事なく、又管理委員会相当額に達する迄之に手を止めざる方針なり。

昭和三年七月

日本書及銀行
管理委員会

松岡 菊吉
高田 金次郎
三浦 大郎
清水 泰七

組織部報告

田中反動外國の積極的彈圧政策の前に在る本年度運動は非常困難であつた。それ故に組織方針も現状維持の重きを置いて来たのである。一般組合員の熱心なる努力に依つて漸次組合員の増加を見六月末現在日て組合員二万二千六百九十五人を算するに至り今や着々と健全なる歩みを続けつつある。

一、組合員増加の在る地方は東京（鉄工、中央合同、逸友、運輸）埼玉（鉄工）静岡（泥岸）（泥岸）方面を中心として殊に東京地方に於ける運輸労働者の結成は覺るべきである。埼玉方面は静岡浜松地方に比し着々進出しつつあり。

加盟組合：二聯合会、二十一組合、七支部、組合員總数二万二千六百九十五名。
組織府県：東京府、北海道、神奈川、静岡、群馬、栃木、山形、長野、埼玉、愛知、千葉、政変関係：一府一道九県に亘つて社会民衆党二十一支部と関係して居る。

加盟組合一覽（昭和三年四月）

組合名	支部数	組合員数	創立年月	所在地	代表者
東京聯合会	九組合	一四、〇六四	昭和二年四月	東京、芝区三丁目	小原 源一